

《履修上の留意事項》公衆衛生学・疫学という科目の性質上、原則として最も新しい資料を用いて講義を進める。

《担当者名》西 基 motoi@hoku-iryo-u.ac.jp

#### 【概要】

この科目は前期の「公衆衛生学」と前編・後編をなすもので、公衆衛生学・疫学の幅広い知識を習得する。

#### 【学修目標】

わが国の高齢者保健・疾病障害統計・精神保健・食品保健・環境保健・産業保健に関し、公衆衛生的・疫学的視点から説明できる。

#### 【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	高齢者保健(1)	介護保険(1)介護保険制度	西
2	高齢者保健(2)	介護保険(2)介護保険の利用・介護保険サービス	西
3	高齢者保健(3)	介護保険(3)介護保険制度・介護保険法の概要	西
4	高齢者保健(4)	介護保険(4)介護保険サービス・保険給付・費用負担	西
5	高齢者保健(5)	高齢者の現状と対策・高齢者医療確保法・老人福祉法・健康増進法	西
6	疾病統計	国民生活基礎調査・患者調査	西
7	精神保健	精神保健福祉法・精神保健業務・精神保健の動向	西
8	食品保健(1)	国民栄養の現状と対策	西
9	食品保健(2)	食品の安全性と機能性(食中毒を除く)	西
10	産業保健(1)	健康管理体制・産業保健の方法	西
11	産業保健(2)	労働災害の現状と動向	西
12	産業保健(3)	健康影響と職業病(金属中毒・有機溶剤中毒・有機化合物中毒・ガス体中毒)	西
13	産業保健(4)	健康影響と職業病(農薬中毒・物理的原因による疾患・じん肺・酸素欠乏症・作業様態による障害・作業関連疾患・職業癌)	西
14	環境保健(1)	地球環境の変化と健康影響	西
15	環境保健(2)	公害とその対策・環境汚染・大気汚染・水質汚濁・居住環境と健康	西

#### 【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部(研究科)、学校の授業実施方針による

#### 【評価方法】

原則として定期試験100%だが、提出物などを加味する場合がある。

#### 【教科書】

『保健師国試スキルアップブックNE0』第3版 海馬書房(前期に引き続き使用;最初の2回の介護保険の講義で使用予定)

『コ・メディカル用語事典』第7版 海馬書房(前期に引き続き使用)

『New Simple Step 公衆衛生』総合医学社

#### 【備考】

資料としてプリントを配付する。

看護師国家試験などの問題の演習を適宜行い、それまでの講義内容のフィードバックを行う。

#### 【学修の準備】

予習として教科書の該当部分に目を通すことが望ましい(10分程度で可)。復習は、講義のあった日には必ずすること。何らかの事情で当日できなかった場合には、その週末にはすること。その際、教科書・事典・プリントには最低20分はかけてすべて目を通すこと。

**【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】**

DP2,3

**【実務経験】**

社会医学系指導医、日本公衆衛生学会認定公衆衛生専門家、日本医師会認定産業医、介護支援専門員。

**【実務経験を活かした教育内容】**

社会医学系指導医、日本公衆衛生学会認定専門家、日本医師会認定産業医および介護支援専門員としての実務経験を生かし、高齢者保健・疾病障害統計・精神保健・食品保健・環境保健・産業保健に関し、過去から最新に渡る情報を提供して講義を進める。